

京北めぐるプロジェクト生ごみ分別モニター向け マニュアル

ご参加いただきありがとうございます。お願いしたい取組は下記の通りです。
ご不明な点があればお気軽にLINE公式アカウント等（P.4記載）からお問合せください。

モニターに取り組んでいただくこと

- (1) **取組の期間** 2022年3月6日（日）～3月19日（土）の14日間
※日程が前後しても構いません
- (2) **14日間取り組んでいただくこと**

①14日間、生ごみを分別する

- お配り（贈呈）した水切りバケツをお使いください



②生ごみと燃やすごみの重さを**記録用紙A**に記入する

- お配り（贈呈）した吊り下げ式はかりをお使いください
- 毎日でも、数日分まとめてはかってもOKです
- 記録用紙Aは提出していただきます



③生ごみを処理する

※処理方法はご自由です

B 他の方でリサイクルする

これまでご自宅でやっていた方法でも、今回初めて挑戦する方法でも構いません

（例）

- ・庭でコンポスト
- ・キエーロ
- ・生ごみ処理機を使う など

A 「ことす」でリサイクルする

元京北第一小の「ことす」に設置したミニミニバイオガスプラントで生ごみを処理する方法です

受付時間・アクセス →P.2

受け入れられない生ごみ →P.3

(3) 終了後に取り組んでいただくこと

④14日間の取組について
アンケート用紙Bに回答する

- アンケート用紙Bに記入して提出してください

⑤意見交換会に参加（任意）

日時：3月26日（土）10～17時

場所：「めぐる市」内特設コーナー

- ことすで開催する「めぐる市」のなかで意見交換会（モニターアンケート受付コーナー）を設置しています
- 記録用紙A・アンケート用紙Bと交換で「選べる謝礼」をお渡しします



生ごみ分別に取り組む、記録用紙Aとアンケート用紙Bを提出していただいた方全員に謝礼をお渡しします。

3月26日（土）の「めぐる市」内特設コーナーで提出するか、
3月21日（月）～31日（木）までの平日10～17時に
「ことす」受付にお越しください。

「ことす」に生ごみを持ってくる方へ

ミニミニバイオガスプラントの使い方

- ①生ごみの重さを記入してください
- ②投入口に生ごみを入れてふたを閉めてください

※ふたを閉めると自動で粉碎が始まります
※一度に投入できる量はコップ1杯分です

投入はこれでおわりです
モニター期間中の投入は
スタッフがお手伝いします



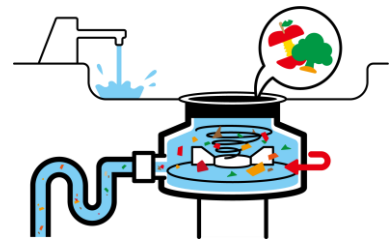
発酵後の液肥は無料で配布する予定です

花壇や家庭菜園で試しに使ってみませんか？ご希望の方は容器をご持参ください。

ミニミニバイオガスプラント



↓ ディスポーザー（粉碎機）付きの投入口のイメージ



ミニミニバイオガスプラントへのアクセス

- 「ことす」は元京北第一小学校です。「駐車場1」が最寄りです。
- 受付時間 平日9時～17時
- モニター期間中は受付にスタッフが常駐しています。

※ただし、天候等によっては臨時休館やスタッフ不在の可能性があります



「ことす」に生ごみを持ってくる方へ

バイオガスプラントには粉碎と発酵する工程があります。この装置にとって処理が得意な生ごみ、苦手な生ごみがあるのでご注意ください。

○粉碎も発酵もかんたんなもの

ひとの胃で消化できるものは基本的に投入できます。かびが生えていても大丈夫です。

野菜くず



茶がらや
コーヒーかす



食べ残し
(出ないほうがいいのですが)



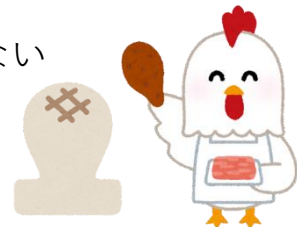
△粉碎はできないが、発酵はできるもの

粉碎機（ディスポーザー）を通すことができません。別の投入口からは入れられます。また、小さく刻んでおけば、粉碎機からも投入できます。

繊維が硬い
バナナのへた
など



粉碎機の刃で切れない
もちやだんご、
鶏皮など



×粉碎も発酵もできないもの

発酵できません

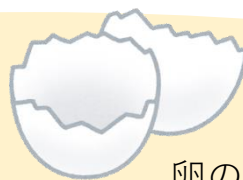
これらは「燃やすごみ」に入れて処理してください。



肉や魚の骨

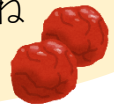


貝や甲殻類の殻



卵のから

梅干しなどの
固いたね

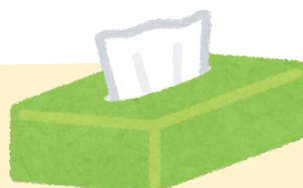


全処理方法共通

これらは生ごみではありません



水切り用の
ネットや新聞紙



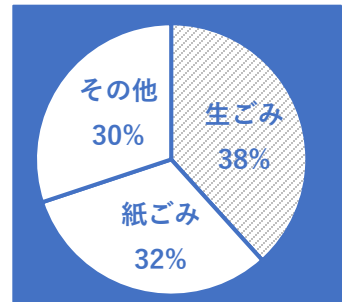
ティッシュ



茶バッグや
コーヒーフィルター

生ごみを燃やさないさまざまな方法

京都市内の家庭から出る燃やすごみのなかでもっとも多いのが生ごみです。生ごみは、水分が多いので燃えにくいごみです。焼却にはエネルギーを消費し、燃やしても灰になるだけですが、分別に協力する人が多ければ、肥料やエネルギーを地産地消できる可能性が高まります。今回生ごみを分別することで、燃やすごみがどれくらい減らせるか確かめてみてください。



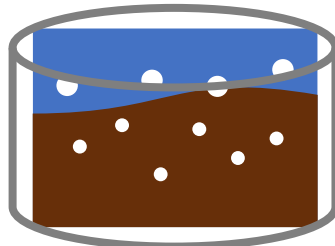
▶燃やすごみの組成

バイオガスプラントが生ごみをリサイクルするしくみ

- バイオガスプラントでは、メタン菌のいる液体を温めています。メタン菌は牛の胃や人間のお腹にもいて、食べたものを消化し、栄養を吸収しやすくしています。
- 生ごみを投入すると、メタン菌が20日間かけて炭水化物や繊維、たんぱく質などを消化します。消化後の液体には、植物が吸収しやすい養分が増えており、肥料として使うことができます。
- 生ごみの消化に伴い、ガスも出ます。これをバイオガスといい、このガスの成分は約6割がメタン（燃えるガス）で、再生可能エネルギーとして活用できます。



生ごみを投入



バイオガスプラントで
温めてメタン発酵



肥料

バイオガス

生ごみを燃やさないほかの方法

生ごみ処理には他にもこんな方法があります。



庭でコンポスト

土のなかの微生物が分解します。堆肥として使えます。



キエーロ

太陽光であたためて、生ごみを分解する微生物の力を活発にします。

2月26日・3月26日/
キエーロDIY
ワークショップ
ことすで開催 (先着順)

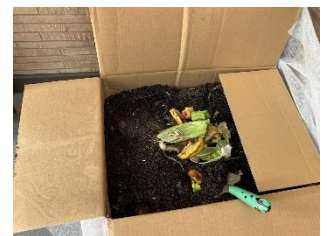
生ごみ処理機

定期的生ごみと微生物をかきまぜます。電気を使って処理するタイプもあります。



ダンボールコンポスト

ダンボール、土、たね菌を混ぜて、生ごみを分解します。



【問合せ】

●京都里山SDGsラボ
「ことす」
公式LINEアカウント



●モニター業務受託事業者 NPO法人木野環境 担当上田
電話：070-5043-3059 メール：u-yumi@kino-eco.or.jp
●(一社)びっくりエコ研究所 現地担当梶谷・前田
電話：075-748-1986 (ことす受付)